

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市営住宅長寿命化対策事業			事業番号	32-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	建築住宅課	藤堂 勝彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち			
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり			
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる			
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進			
予算事業名	市営住宅運営管理費						
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-		
関連法令等	住生活基本法(平成18年法律第61号)						
国・県の計画等	国:住生活基本計画(全国計画)・・・県:神奈川県住生活基本計画			計画期間	平成28年度～平成37年度		
関連個別計画	伊勢原市営住宅長寿命化計画			計画期間	平成22年3月～平成31年度		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	国は、確実な点検の実施及びその点検結果に基づく維持管理により更新コストの削減をめざすため、公営住宅等長寿命化計画の策定及びこれに基づく予防保全的な維持管理、長寿命化に資する改善を推進していくこととした。また、平成26年度以降に公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業、建替事業以外は助成対象としないこととした。						
目的 (何をどうしたいのか)	市営住宅のストックは既に修繕周期を大幅に超えている状況であり、このストックを良好な状態で耐用年数まで活用できるよう、予防保全的な修繕や効率的な改善を市営住宅長寿命化計画に定めた。この計画に基づき、市営住宅のライフサイクルコストの縮減、耐久性の向上などを図り、質の高いストックとして確保し、長寿命化を図る。						
主な対象 (誰・何を対象に)	現在の市営住宅入居者及び特に居住の安定を図る必要がある住宅困窮者						
事業内容 (手段、手法など)	・市営住宅長寿命化計画に基づき池端、峰岸、千津、精進場の各市営住宅の長寿命化対策工事を行います。						
事業行程	項目	年度					
		28年度	29年度				
	給水方式の変更	峰岸工事、千津設計	千津工事				
	外壁改修、屋上・屋根防水改修	池端工事、峰岸設計	精進場・峰岸工事、千津設計				
目 標	【指標名】	【現状】	年度				
			28年度	29年度			
	市営住宅長寿命化計画改善事業の進捗率	5.4%	35.2%	61.9%			



事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	伊勢原市市営住宅長寿命化計画に基づく長寿命化対策を進める。 次年度に予定する取組 精進場住宅屋上防水・外壁改修工事、峰岸住宅屋根防水・外壁改修工事 千津住宅受水槽改修工事 千津住宅屋根防水・外壁改修工事設計		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施                      ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 建築設計事務所
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b> 工事施工業者
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	給水方式の変更	峰岸工事、千津設計	
	外壁改修、屋上・屋根防水改修	池端工事、峰岸設計	
<b>実施した取組の内容</b>	事業行程のとおり改修工事及び設計を実施した。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
	市営住宅長寿命化計画 改善事業の進捗率	5.4%	31.9%
			<b>29年度</b>

<b>コスト</b>	<b>年度</b>	<b>28年度 実績</b>				<b>29年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		114,789		千円					千円
	<b>内訳</b>	<b>国県支出金 ①</b>	42,638		千円					千円
		<b>地方債 ②</b>	65,400		千円					千円
		<b>その他特財 ③</b>	0		千円					千円
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	6,751		千円			0		千円
	<b>国県支出金の内容</b>		社会資本整備総合交付金(地域住宅支援) 補助率:45% 防災・安全社会資本整備交付金(地域住宅支援) 補助率:45%							
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	● 有    ○ 無		<b>前回の改定時期</b>	収入に基づき毎年算定(住宅使用料)				
		<b>その他</b>								
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.53	人	4,585	千円		人		千円
		<b>その他の職員</b>	0	人	0	千円		人		千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.53	人	4,585	千円		人		千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				119,374	千円				
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	入居者及び入居予定者		単位					
		<b>定義</b>								
<b>対象数</b>		256		人						
<b>総事業費 / 対象数</b>				466,305	円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	計画どおり給水方式の変更及び、外壁改修、屋上・屋根防水の改修を実施した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	建設年度、維持管理状況等が異なることから、他都市との比較はできない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	給水方式を直結増圧方式に変更したことから、安定した給水の確保、維持管理の効率化が図られた。また、外壁改修・屋上防水改修を実施したことから、施設の長寿命化を図ることができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市営住宅長寿命化計画に基づき、交付金等を導入し、効率的に進めることができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	良好な状態で施設を維持・活用するために、引き続き市営住宅長寿命化計画に基づいた改修が必要である。
次年度取組方針		市営住宅長寿命化計画に基づき長寿命化対策を進める。 〈次年度に予定する取組〉 千津住宅受水槽改修工事、精進場住宅外壁・屋根防水改修工事、峰岸住宅外壁・屋根防水改修工事 千津住宅外壁・屋根防水改修工事設計		
所管部長による総評		公共施設の長寿命化は、限られた資源の活用やコストの削減など、経済面においても有効な取組であると認識している。こうしたことから、引き続き社会資本整備総合交付金の活用を図り市営住宅長寿命化対策を計画的に推進する必要がある。		